

日本共産党平塚市議会議員

松本とし子です



松本とし子のホームページ

http://www.matsumoto-toshiko.jp

平塚市寺田縄51-16

電話・Fax 59-4607



今年も市民の暮らし・福祉優先の市政のために

明けましておめでとうございませう。昨年の市議選で、2期目を働かせていただくことになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

昨年夏の参議院選挙で、みなさんが下した「自公政治ノー」の審判は、いよいよ「国民の声が政治を動かす」新しい時代の始まりとなりました。

インド洋から海上自衛隊が撤収。国民の声で軍隊を撤収させるというのは、戦前・戦後を通じて日本の歴史の中ではじめてのことです。

また、被災者支援法の改正で、国民の長年の願いだった住宅本体の再建への公的支援が盛り込まれたこと。母子家庭への児童扶養手当削減が「凍結」になったこと。昨年暮れには、薬害肝炎被害者のみなさんへの一律救済へと、政治が大きく動きました。今年はさらに、国民のみなさんの声で政治を動かす流れを大きくしていくようではありませんか。私も皆さんの声をしっかりと受けて、全力で頑張つてまいります。

「議会報告」 7月29日の夕陽ヶ丘での水害から

さる7月29日夜、平塚市内では局地的な大雨となり、いくつかの地域で床上・床下浸水、道路の冠水などの被害が起こりました。

特に、港地区では東部ポンプ場のポンプが稼働せず、ウォーターハンマー現象が起こり、道路は異常に隆起し、マンホールのふたが跳ね上がり、雨水・汚水とも逆流して地域一帯が60、70センチも冠水するといった事態となりました。

市は被災した住民の状況や周りの罹災状況を把握しようとしなかった。

7月31日に行った災害対策会議では、どのようなことを決定し、どのような対策が講じられたのか。その後、現地調査を1週間もたつてから行った理由は。

●避難所の開設について、学校が夜間や休日の場合、公民館が夜10時以降や閉館日の場合の連絡体制と地域全体の認識について。

●応急処置を講ずる任務として、災害対策本部の事前配備の必要性があったのではないかと。

●防災課は、被害の種類によって担当部署を的確に把握されていたのか。また、罹災者に対し、罹災届けを出すような助言又は援護制度の利用についての助言などはあったのか。

市も、今回の水害対策の不備を二度と繰り返さないため、その後の台風九号には万全を期しました。

そして今後、温暖化による局地的な大雨や災害に機敏に対応するには、組織改正が必要であるとして、新年度から「防災危機管理部」を設置することとなりました。

しかし、今回の災害で学ぶことは、組織の強化も必要ですが、市民の安全を第一に考えて指揮・行動する公務員としての職務の遂行という点が大きく問われたのではないかと考えます。



無料法律相談

議員団では、毎月第2土曜日午後1時から弁護士による無料法律相談を行なっています。ご予約は、松本とし子までお願いいたします。

「後期高齢者医療制度」は 皆さんと共に中止・撤回へ！

みなさん、暮らしぶりはいかがでしょうか。

収入や年金が減り、増税・負担増、原油高騰、生活必需品の値上げつづきで、生活は苦しくなるばかりです。

そんな中、ことし4月からスタートする「後期高齢者医療制度」ってどんなものかご存知ですか。

75歳以上の方を「後期高齢者」と決め（勝手に・・・）、国民健康保険や社会保険などの組合から脱退させ、別枠にして、高い保険料を年金から天引きするということです。

払えない人には保険証を取り上げることや、高齢者は医療費を使いすぎるからと、今までのような必要な医療を受けさせない、2年ごとに値上げが検討される・・・という、最悪の制度です。

長年ご苦労されてきた高齢者のみなさんに、何と冷たい仕打ちでしょうか。日本共産党は、4月実施の中止と、一時的・部分的凍結ではなく、制度そのものの撤回を強く求めています。

今後も署名行動を行ってまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いたします。



市民の現状をみれば、これ以上の値上げは避けるべき。

平塚市議会12月定例会では、新年度からの「下水道使用料」や「出産費用」の値上げが可決してしまいました。今度の3月議会には「国民健康保険税」の値上げ案も出る様相です。

昨年も市内の中小業者の倒産・廃業が相次ぎました。多くの業者が「明日は我が身：」と必死でやりくりしています。そうした市民の生活状況をみたら、これ以上の負担は見送るべきではないでしょうか。

「下水道使用料」も、3年の見直し時期だからというだけで、緊急性があるものではありません。それよりもまず、他市に比べても低く設定されている大企業の下水道使用料金を見直すことが先決です。

共産党市議会議員団は、この点を指摘し、値上げに反対しました。

市民への値上げに賛成した議員の大半が、自分たちのボーナスアップに賛成。

平塚クラブ、湘南民主クラブ、公明党は、これらの値上げに賛成しながら、議員のボーナス（手取り約2万5千円）アップに賛成したのです。これでは、苦しむ市民の思いなどわかるはずありません。

プロフィール

新潟県松之山町現十口町市で生まれる。55歳。保育園 特別養護老人ホーム 障がい者施設進和学園で働く。管理栄養士、介護支援専門員資格。

趣味

書道、写真、
絵画鑑賞ほか
（写真を参照）



ハイキング



音楽鑑賞
神奈川うたごえ祭典「より



最近夫がほとんど。



花野菜づくり



猫と遊ぶこと。
昨年は、左の猫「エル」がいなくなり、皆さんに大変お世話になりました。

これまでに松本と子が 取り組んできたこと

- ★ 障がいのある人もない人も共に生活できる社会をつくること
- ★ 市外の地域作業所へ通う人、やむを得ず送迎している家族にも交通費の補助実現。
- ★ グループホーム利用者に家賃補助を求める。
- ★ 国の政策のひずみの中で、経営に苦しむ中小業者や低所得者などの生活を守ること
- ★ 国民健康保険の窓口負担の減免要綱（ゆる）。
- ★ 国保の「田産育児一時金」の受領委任払い制度が誰もが気軽に利用可能に。
- ★ 生活保護の申請。
- ★ 多重債務者救済。
- ★ 住民の生活を守ること
- ★ 住民無視のヘットの火葬場建設反対運動の中で、市は「ハット霊園」の設置に関する指導要綱を制定。
- ★ 土砂災害の危険を防ぐために、住民とともに危険区域指定を受ける運動。
- ★ 道路補修や危険な道路にミラーの設置など多数実現。
- ★ 不当な労働者解雇に審判を。
- ★ イノシシ被害に悩む生産者や地元の方々と要望し、市は檻を設置など。